

06/05・ロンドンでテロ7人死亡 車暴走後、刃物で襲撃

- ・日銀、ETF (上場投資信託) 保有16兆円 3月末 1年で1.8倍 株価下支え
- ・メキシコ経済上向き 1-4月の自動車生産前年同期比13.8%で過去最高

06/06・安倍首相、一帯一路に協力姿勢 公正さなど条件に日本企業の参加妨げず < 1 >  
国際交流会議「アジアの未来」で、構想のポテンシャルを評価

- ・日中首脳相互訪問提案 来年まず首相訪中 経済軸に関係改善  
5月末楊國務委員来日時に政府提案 相互訪問は2008年以来 来年は平和友好条約40周年  
「日本外し」警戒 米中接近・北朝鮮にらむ

06/07・南シナ海軍事拠点化懸念 米国防省が対中国で報告書

- 尖閣は日米安保第5条の適用対象と明記
- ・日印原子力協定を参院が承認 原発輸出可能に インドの核保有を追認

06/08・「米大統領が捜査中止要請」 FBI前長官が書面証言

- ・4月経常黒字10年ぶり高水準 前年同月比7.5%増の1.95兆円 < 2 >  
訪日客最高の257万人 貿易黒字は原油高で19%減 第1次所得収支は6%増の1.84兆円

06/09・「トランプ氏が嘘」 コミー前FBI長官が議会証言 (8日) < 3 >

06/10・英総選挙、与党が敗北 EU強硬離脱に影 メイ首相の賭け裏目も続投表明 < 4 >

- 保守党公約 (介護費用負担額引き上げ) 対テロ (内相時代警察官2万人減) 不評
- 野党労働党は若者つかむ (若年層投票率72%)
- ポンド急落も株への影響限定的 「離脱穏やかに」の見方
- ・「骨太方針」 (経済財政運営の基本方針) 決定 「安倍1強」生かせず  
アベノミクス5年で潜在成長率低下 社会保障・財政「落第」 高い支持率も安保に隔たり
- ・中独企業蜜月時代 自動運転やIOT 技術・市場の思惑一致 独、高まる中国依存  
インド新車販売6%増 5月、5カ月連続プラス

06/11・英政権運営綱渡り メイ首相、閣外協力軸に 地域政党と連携急ぐ

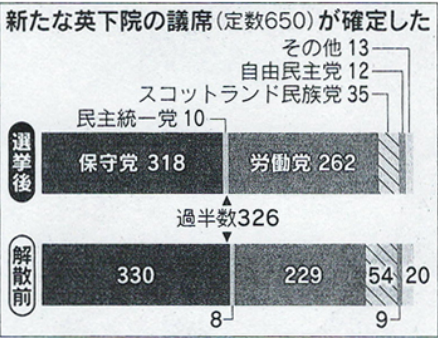
- 北アイルランド民主統一党の10議席で過半数もEU離脱には温度差
- ・国の税収、7年ぶり減 法人税、好業績でも伸びず  
プラス成長下での減収は異例 「成長による財政再建」の土台揺らぐ
- ・預金ついに1000兆円 金利無くても残高最高 回らぬ経済象徴 < 5 >  
普通預金金利0.001% (100万円1年で10円) でも預金 預貸率70%台に低下
- ・官民投資、中国で乱立 地下鉄など総額230兆円  
「民」の実態は国有企業? 不良資産拡大も

<1>

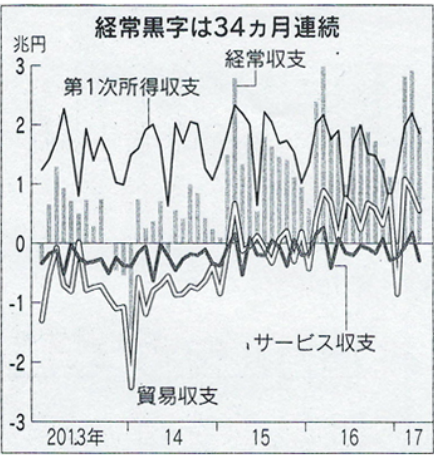
**首相演説のポイント**

- 中国の「一帯一路」構想はポテンシャルがある
- インフラ整備では、万人に開かれ、透明で公正な調達によって整備されることが重要。プロジェクトに経済性があり、借り入れ国にとって債務が返済可能で財政の健全性が損なわれないことも不可欠
- 国際社会の共通の考え方を十分に取り入れることで、「一帯一路」構想は環太平洋の自由で公正な経済圏に融合する。日本はこうした観点から協力
- 環太平洋経済連携協定（TPP）は道半ばだが、あきらめない
- 東アジア地域包括的経済連携（RCEP）もTPPのルールを基礎にしてこそ質の高い協定になる

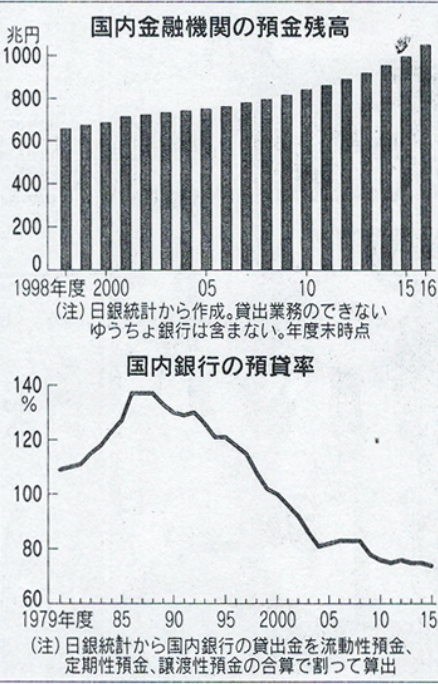
<4>



<2>



<5>



<3>

**コミー前FBI長官議会証言のポイント**

- 解任された理由がころころ変わったことで混乱し、懸念を抱いた
- 大統領と自分の会話が司法妨害に当たるかどうかは、私が判断することではない
- 大統領が嘘をつくことを懸念し会話記録を残した
- 長官職と引き換えに、大統領に何かを求められていると感じた
- 大統領からフリン前大統領補佐官への捜査中止を望んでいると言われて、指示だと受け止めた
- 会話記録を記者に共有するように友人の一人に頼んだ